

平成二十七年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十七年二月一日～平成二十七年四月末
投句数 二、二七〇句

特選三句

天

江ノ電に乗るのも終り卒業す

千葉県流山市 角田 勇

地

極楽寺囲みて四方の山笑ふ

東京都武蔵野市 池田 宏治

人

大仏の御手より蝶の生まれけり

栃木県宇都宮市 星 揚子

入選句

一般の部

鶯や寺まだ門を閉しをり

大阪府豊中市

安藤

知明

初花や鎌倉五山巡りゐて

東京都町田市

大高

英子

谷戸の風穏やかならず崖椿

東京都大田区

荻野

操子

大虚子の墓に詣でて春惜しむ

東京都町田市

笠原

祥郎

竹林に鶯の声すき通り

東京都町田市

香山

拓子

蝶越える駆込寺の黒き塀

神奈川県横浜市南区

岸本

隆雄

豊穰の海を眩しみ若布干す

千葉県船橋市

栗原

勝

車椅子梅の日向を去り難く

神奈川県鎌倉市

黒田

史子

大仏の大きな影の余寒かな

東京都町田市

竹内

弘

波音の路地まで届く遅日かな

神奈川県横浜市港南区

田阪

武夫

喜々として鎌倉の土耕せり

神奈川県三浦市

秦 孝浩

寿福寺の空の深さへ初音かな

静岡県浜松市浜北区

古木 ヒロ代

百人の鎌倉文士風光る

静岡県浜松市浜北区

三輪 ふさ代

僧衣また色とりどりに仏生会

神奈川県逗子市

森澤 謙二郎

鎌倉の赤い椿に逢う夕べ

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

紅梅や恋の成就を願ふ絵馬

東京都板橋区

若林 喜美夫

一枚はすつと拡がり春の波

東京都文京区

上部 隆男

春めくや地図を片手に寺めぐり

神奈川県三浦市

佐原 寛

花冷や瓦を伝ふ鐘の音

東京都大田区

箕輪 賢次郎

鎌倉の景色を変える春の雪

神奈川県横浜市港南区

高橋 京子

(順不同)

入選句

子どもの部

春風に心やすらぐ報国寺

埼玉県越谷市

松本

葵

春風に大仏様もほほえんで

埼玉県越谷市

東山 千紘

かまくらにあたたかいかぜふいてきた

埼玉県越谷市

岡部 将大

高德院大仏様と花見かな

東京都大田区

小林 日向

春風が波を誘うよ由比が浜

東京都大田区

大野 怜

春風とともに走るよ江ノ電が

東京都大田区

田村 悠太

だいぶつのおなかのなかはあたたかい

東京都調布市

さとう ゆな

そよ風がふくよかまくら春の海

東京都文京区

高橋 亜由美

澄み渡る空にとんびと梅の花

静岡県浜松市中区

村松 七海

母と行く江ノ電おりて春の風

千葉県袖ヶ浦市

平田 智佳子

(順不同)